

第10号様式

令和 年 月 日

東京都知事 殿

団体名 \_\_\_\_\_  
代表者 \_\_\_\_\_  
役職・氏名 \_\_\_\_\_ 印

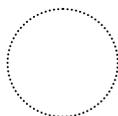
実績報告書

令和 年 月 日付けで交付決定を受けた事業を完了したので、令和6年度地域の底力発展事業助成金交付要綱第18の規定に基づき、関係資料を添えて下記のとおり報告します。

記

1 事業実績等

(1) 実施事業名
(2) 事業実施期間
令和 年 月 日から令和 年 月 日まで
(3) 事業規模（参加者数等）
(4) 事業実施内容
※実施した事業の打合せから反省会までのスケジュールや当日の詳細を記入
【初回打合せから事業当日までの打合せ日程・内容及び事業周知の日程等】
【事業実施日の日程・内容等】
【反省会の実施日程・内容等】



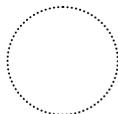
(5) 「地域防災力の強化」かつ「多文化共生社会づくり」につながる活動の実施内容、効果及び課題（助成率の特例措置を受けた団体のみ記入）
(ア) 実施した取組について
<b>【概要】※該当する実施概要について、次の中から選んで□にチェック（✓）を記入してください。</b> 地域防災力の強化：□普及啓発チラシ配布（ 部配布） □防災訓練の実施 □その他（ ） 多文化共生社会づくり：□理解促進チラシ等配布（ 部配布） □事業周知物等の多言語化（ 部作成） □多文化交流 □やさしい日本語による周知物 □その他（ ） <b>【具体的な内容】※上記の概要でチェックをつけた内容について、詳細を記入してください。</b>
(イ) 効果及び課題
<b>【効果】※該当する効果について、次の中から選んで□にチェック（✓）を記入してください。</b> □地域住民の防災への関心が高まり、防災意識の向上につながった。 □災害時には外国人住民にも分かりやすい呼びかけ等が必要なことについて、町会や住民の理解が進んだ □外国人との共生や多文化理解のきっかけとなった。 □地域の企業や外国人支援団体との繋がりを持つことができた。 □その他（ ） <b>【課題】※該当する課題について、次の中から選んで□にチェック（✓）を記入してください。</b> □災害時における地域住民の共助の意識をさらに深める必要がある。 □多文化共生の意識を地域全体に根付かせる必要がある。 □より発展的な事業を検討する必要がある。 □その他（ ）
(6) 事業の効果
<b>※該当する効果について、次の中から選んで□にチェック（✓）を記入してください。</b> □町会・自治会が活性化されて、今後の活動を担う人材の育成につながった。 □地域における町会・自治会活動への住民の関心が深まり、新規加入の促進に効果があった。 （新規加入世帯数： 世帯）※把握している範囲で記入してください。 □住民間の交流が活発になり、住民同士が顔の見える関係になることで、地域のつながりを強化することができた。 □他団体との連携が強化され、今後の地域活動の発展に向けての契機となった。 □地域の課題に対する住民の意識が高まり、地域ぐるみで課題解決に向けた活動を展開することができた。 <特に効果のあった事項など> ※必ず記入してください。
(7) 事業の成果（成果物を含む。）
別添のとおり
(8) 参加団体

## 2 事業実績額

金 \_\_\_\_\_ 円

※ 事業実績額の内訳については、別紙「決算書」のとおり報告する。

※ 事業実績額の領収書等については、別添のとおり報告する。



### 3 連絡責任者

役職名・氏名			
所在地等	〒 _____		
電話番号	自宅・職場 ( )	FAX	( )
	携帯電話 ( )		
メールアドレス			